

週刊 かわら版

生徒と保護者のための

全校応援(野球) 九州大会県予選

秋季高校野球大会、秋晴れの中、強豪神村学園と対戦。赤いウエアで揃えた相手校の応援。さすがに応援慣れしている。それにも負けない本校の応援だった。

試合は「試し合い」である。相手チームの胸を借りて、自分たちの力量がどれだけ上がったか試す場である。日頃の練習に創意工夫を重ね、短期間でも無駄のない練習をし、対戦相手がどのような手法で攻めてこようとも戸惑うことなく実力を発揮し、最後まで戦い抜くことである。それは「気づき・考え・実行する」の連続である。多くの経験を積んで、強くたくましく成長していくのであろう。特に野球については2時間以上のゲームの間に様々な「試し合い」がなされる。「野球は筋書き



先見コーナー

- 10/10(火)○1年医福介護実習(～1日)
●考査一週間前→部活動練習中止期間
(ただし特別申請のあった部活動除く)
- 10/12(木)○中高連絡会(南薩)
- 10/13(金)○中高連絡会(大隅)
○全エリスニング英語検定(18日に変更)
- 10/14(土)○1・2年土曜補習(e・プ・特)
○3年進研模試(記述) ○第1回自専攻科入試
- 10/15(日)○3年進研模試(記述) ○秋季情報処理技術者
- 10/16(月)○中間考査(予備日)
○全エリスニング英語検定(1限目 MMH)
- 10/17(火)○中間考査
- 10/18(水)○中間考査 ○中高連絡会(始良・伊佐)
- 10/19(木)○中間考査 ○中高連絡会(日置)
○県高校教育研究会工業部会(鹿工)～20日
- 10/20(金)○開校記念日→学校休校
- 10/21(土)○第13回自専攻科OC
- 10/22(日)○一日体験入学
- 10/23(月)○全校朝会・職員会議
○2年医福介護実習(～11/2)
○Q-Uテスト(1・2年) 日程変更・学年訂正
- 10/24(火)○1年学年朝会

今回のかわら版は、全校応援のために記事を差し替え、発行を延期いたしました。次のかわら版18号は10月19日(木)に発行の予定です。

情報

- は新規に掲載したものを
- 児童福祉週間・標語募集
締め切り 10月20日
- 高校生小論文コンクール
締め切り10月31日
- 鹿児島馬拉ソンボランティア募集
締め切り10月31日
- 家族や地域の大切さに関する作品コンクール
写真・手紙・メール
締め切り10月31日
- 高校生文化大賞
- 校内読書感想文コンクール
締め切り11月6日
- 副賞 図書カード
おはら祭
写真コンテスト
締め切り11月10日(金)
- 環境フォト&ムービーコンテスト
締め切り11月30日
- 高校生
よかアイデアコンテスト
締め切り11月30日
- てのひらフェスティバル
エントリー
- CGIARTS検定
締め切り10月11日
- パソコン利用技術検定
締め切り10月13日
- 全商英語検定
締め切り10月13日
- 3級陸上無線
締め切り10月13日
- グラフィック検定
締め切り10月13日午前
- 硬筆書写検定
近日申し込み開始
- 女子中高校生のための鹿児島大学科学体験塾
開催日 11月18日(土)
締め切り11月7日
- バイオテクノロジーを学ぼう
鹿児島大学農学部
11月12日 開催

資格試験情報

清流

編集後記

この金曜日の朝、「秋の覚せい剤・シンナー乱用防止キャンペーン」が谷山駅周辺で行われた。本校からも、生徒会本部役員を中心としたメンバーが、キャンペーンに加わり、ちらしやティッシュを配付、啓発活動に貢献した。20年以上前に、この谷山地区から始まったこの運動、発足当時から関わってきた本校生徒会。ボランティアは細く、長く、そして広めることが重要である。その模範である。

朝、谷山旧道を通ると、市電の踏切で、降りた遮断機に長い時間待たされることがある。そのあまりの長さにイライラがつのる。その時、一台の自転車が遮断機の隙間をくぐり、走って行った。幸いに事故には至らなかったが、実に危険な行為である▼今はどうか知らないが中国の大通りを渡るとき、遮断機のような長い棒を持って、往来する車を遮断し、道を横断する姿を写真で見たことがある。その写真には「遮断機は通行止をするのではなく、人を安全に通らせるためにある」とコメントがあった▼ホングの創始者の本田宗一郎さんの話。ある時、ある人に、「スピードを出すためにアクセルがある」と言われた。「だったら、ブレーキのない車で、アクセルを踏んでスピードを出してみろ」と応え、ブレーキをはずした車を差し出した。差し出された本人、当然走れるはずがない。アクセルだけではスピードが出せない。制御すべきものがあって始めてスピードが出せる▼「リミッター」が外れたと、先日百メートル走、九秒台を出した桐生選手が言っていた。輝いた人生を駆け抜けるって、自分をコントロールし、うまくリミッターをはずしていくことなのかもしれない。